

令和7年度 第1回 内野小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月30日（水） 13時00分から14時00分
- 2 開催場所 浜松市立内野小学校 北校舎3階 会議室
- 3 出席委員 岡田 正利、作田 悠佳、平野 岳子、山口 暢子、桑原 純一郎
大久保 公雄、中道 想、森上 久美子、金子 香穂利、伊藤 正
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 黒瀬 渉（きじの里放課後児童クラブ）
- 6 学 校 生熊 周（校長）、齋藤 隆治（教頭）、平野 晶子（教頭）、
横山 和美（主幹）、青嶋 慶衣子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 青嶋 慶衣子
- 10 議長の選出

司会の齋藤教頭から、コーディネーターの山口委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について（浜松市学校運営協議会規則確認）
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （4）R7自己目標について

12 会議記録

司会の齋藤教頭から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・職員の名札が黄色、保護者が白と、子供が見分けやすくなった。運営協議会委員の名札もできた。多くの目で「見てるよ」という雰囲気を作っていけたら。（平野委員）
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

【学校運営協議会規則について】

齋藤教頭から別紙資料に基づいた説明があった。

（2）いじめ防止等のための基本的な方針について

齋藤教頭から、別紙資料に基づいた説明があり、委員から以下の発言があった。

・昨年度は何件あったか。全て解消しているか。（中道委員）

・昨年度は146件。全て対応しているが、行為が止んでから3か月で”解消”となるため、年度をまたいでいるケースもある。（齋藤教頭）。

・登下校中に「きもい」等と言われている子について学校に報告した経験がある。その児童は一時的に登校できなかったようだ。加害児童の保護者にも連絡しているか。

（作田委員）

・事実確認をした上で、必ず連絡している。（齋藤教頭）

・どのように伝えているか。事実のみか、踏み込んだ話までしているか。いじめの定義が昔とは違う。加害側の保護者が「その程度ならいいんじゃない」等と思ってはいないか。（岡田委員）

・その児童にとって教育上良い結果となるよう、ケースバイケースで対応している。

（齋藤教頭）

・不登校につながるいじめはあるのか。（桑原委員）

・『不登校重大事態』まではないが、そこにつながりそうなケースはあり、特に丁寧に対応している。命に関わるようなことがあってはならない。（齋藤教頭）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（３）夢育やらまいか事業に対する意見書について

齋藤教頭から、別紙資料に基づいた説明があり、全員異議なくこれを承認した。

（４）Ｒ７自己目標について

・Ｒ６自己評価で挙げた”来年度の目標”をまとめる形でどうか。（平野委員）

・ボランティアの具体的な内容を決めた方がよい。（伊藤委員）

・田んぼの手伝い、校外学習の補助、花壇の草取り、水やりなどがある。（金子委員）

・「支援活動をするために必要なボランティア活動」ではどうか。（中道委員）

・今年度の目標をまとめると、「学校支援活動を強化するために、必要なボランティアを充実させ、協議会の活動を広報啓発する」でどうか。（山口委員）

・昨年度、『コミスク便り』第一回を出すことができた。継続して発行し、協議会の活動を地域に周知させたい。防犯ボランティアは継続して募集しているが高齢化に伴い減少傾向。（山口委員）

・『危険箇所マップ』に則って、どこに何人ボランティアが必要かを洗い出して明確にし、具体的に募集したらどうか。地図上で、ここに何人必要と。その前に、今現在どこに誰が立ってくれているか、正確に把握できていない。（平野委員）

・『危険箇所マップ』は地域全体を網羅しているが、その中から登下校ルートに限定して、まずは現状を把握。その上でどこに何人必要かはっきりさせる。（岡田委員）

・子供会が一番わかっている。協力を得ると良い。（山口委員）

その他報告事項等

司会から、次回会議は10月10日（金）午後1時30分から、北校舎3階会議室で開催する旨の報告があった。